

知多市長定例記者会見次第

日 時 令和8年7月17日(金)

午前10時

場 所 歴史民俗博物館

1 市長あいさつ

2 第13回新舞子ビーチフェスティバルを開催【資料1】

3 案内

(1) 第52回知多市民美術展協賛者を募集【資料2】

(2) 打瀬船「藤井丸」が“ふね遺産”に認定【資料3】

(3) 歴史民俗博物館 企画展「知多市の観光史展」【資料4】

(4) 知多市ジュニア防災リーダー養成講座【資料5】

(5) 「地域における初期日本語教育モデル事業」を開催【資料6】

※ 次回知多市長定例記者会見の開催予定日時 8月26日(水) 午前10時から



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

お問い合わせ
商工振興課 観光チーム
知多市観光協会
知多市商工会

森 (0562-36-2664)
江尻 (0562-51-5637)
深谷 (0562-55-0700)

資料 1

第13回新舞子ビーチフェスティバルを開催

夏の終わりを飾る知多市の一大イベント「新舞子ビーチフェスティバル」を開催します。

1 開催日

8月29日(土) ※荒天中止

午後4時～8時 新舞子キッチンガーデン

午後7時～ 花火大会

2 会場

新舞子マリンパーク(緑浜町2-2)

花火大会会場: ブルーサンビーチ

新舞子キッチンガーデン: ファミリースポーツ広場

会場周辺には一般駐車場
はありませんので、公共
交通機関をご利用くださ
い。

3 催し内容

○新舞子キッチンガーデン(テント25店、キッチンカー10台)

地元自慢の逸品や定番祭りグルメなどが勢ぞろい。冷たいスイーツやビール等のアルコールもあります。

○花火大会(約1,800発)

新舞子ならではの水中スターマインと音楽にあわせて打ちあがるミュージック花火が初めて競演し、新舞子の夜空と海を鮮やかに彩ります。



▲花火大会の様子



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

お問い合わせ

生涯学習スポーツ課 生涯学習チーム 濱島 (0562-31-0383)

資料 2

第52回知多市民美術展協賛者を募集

概 要

第52回知多市民美術展を勤労文化会館にて開催するにあたり、協賛者を募集します。市民美術展は、芸術を愛好する市民の皆さんが日ごろの成果を発表する展示会で、絵画、書、彫刻・工芸、写真の各部門の作品を展示します。

協賛金は、入賞者への副賞のほか、特別企画(呈茶)など、市民美術展の事業の充実のために使われます。

PRポイント

昨年度は出品が271点、来場者数が約4,300人と、多くの人が訪れるイベントです。協賛金は、個人・団体は1口500円と気軽に申し込める金額となっています。



▲ 第51回知多市民美術展の様子

申込期間

事業者： 7月1日(水)～9月30日(水) 個人・団体： 7月1日(水)～10月30日(金)

協賛内容

事業者対象の事業者協賛(1口3,000円・目録に広告掲載、会場に事業者名を掲示)

個人・団体対象の協賛(1口500円・会場に協賛者名を掲示)

先着1企業の冠協賛(1口50,000円)は決定済み。詳しくは別添「募集要項」をご覧ください。

申込方法

申し込みは、知多市民美術展実行委員会(生涯学習スポーツ課内)

協賛金の支払いは直接、または口座へ振り込み

市民美術展

開催日時： 11月21日(土)～23日(月・祝) 午前9時30分～午後5時(23日は午後4時まで)

場 所： 勤労文化会館(緑町5-1) やまももホールなど



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

お問い合わせ

知多市歴史民俗博物館 真田 (0562-33-1571)

資料 3

打瀬船「藤井丸」が“ふね遺産”に認定

概 要

歴史民俗博物館に常設展示されている、全国で唯一現存する愛知県型の打瀬船「藤井丸」（知多市指定有形民俗文化財）が、公益社団法人日本船舶海洋工学会から“ふね遺産第60号（現存船第27号）”に認定されました。

「愛知県型打瀬船の様子を現在に伝える木造帆船」と評価され、愛知県内に所在するふねとしては初めての認定になります。認定証とプレートは常設展示室内の「藤井丸」の横に展示します。

PRポイント

「藤井丸」は昭和30年頃に現在の西尾市一色町で進水し、約20年間打瀬網漁で使われました。昭和53年に知多市民俗資料館が現在地に移転開館する際に寄贈され、以来約50年にわたり常設展示されています。

知多市指定有形民俗文化財であり、貴重な文化遺産です。今回の認定を契機として、その価値を広く発信するとともに、次世代へ受け継いでいけるよう、今後も適切な保存に努めます。



▲打瀬船「藤井丸」

認定証等展示 7月17日（金）から

展示場所 歴史民俗博物館 常設展示室（緑町12-2）※ 認定証とプレートは打瀬船「藤井丸」横

観 覧 無料

認定ふね遺産 別添冊子をご覧ください



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

お問い合わせ

知多市歴史民俗博物館 真田 (0562-33-1571)

資料 4

歴史民俗博物館 企画展「知多市の観光史展」

概 要

江戸時代から現代までの市域を紹介するパンフレットや、行楽の様子が撮られた写真などを通して、知多市の観光の歴史を振り返る企画展を開催します。

佐布里、新舞子、長浦の市内の地区ごとの歴史や、明治時代末の鉄道開通後、観光地として開発、発展した市内各地の海水浴場に関する資料など約150点を展示します。



▲知多町観光案内図（昭和31年）（一部）

PRポイント

新たに収蔵した「尾張名所図会」からは、江戸時代の知多市域の名所を紹介します。

現在は姿を消したり、大きく変化したりしている観光スポットも紹介するため、知多市域の昔の様子や発展の歴史に触れることができます。

期間中には、常設展と企画展をテーマにした「れきみんなぞときクイズ」や機織りなどの実演や体験のイベントを開催します。

日 時 7月18日（土）～8月30日（日）の午前9時～午後5時。入館は午後4時30分まで
月曜休館。ただし、祝休日の場合は翌平日が休館日になります。

会 場 歴史民俗博物館 特別展示室（緑町12-2）

観 覧 無料

詳 細 別添チラシをご覧ください。



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

お問い合わせ
防災危機管理課 佐藤（0562-36-2638）

資料 5

知多市ジュニア防災リーダー養成講座

概 要

大規模災害発生時に自らの安全を確保し、地域で活躍できる人材を育成するため、市内の中学生を対象に2日間開催します。

PRポイント

将来の地域の担い手となる中学生が、地震などの体験学習や防災カードを使用したゲームを通じて、防災に関する知識を習得します。

「災害に強いまちづくりの推進」の観点から、災害発生時に地域のために率先して行動できる次世代の防災リーダーを育成します。



▲ 救急救護訓練の様子

日時など 8月18日（火） 午前9時～午後1時30分

場所：午前9時から 消防署八幡出張所（三反田1丁目41）

午前11時から 消防本部（新知字西新生73・午前11時から）

内容：地震などの体験学習、水消火器による訓練、防災基礎学習

8月19日（水） 午前9時～午後1時30分

場所：消防本部

内容：防災カードゲーム、防災講話

参加者 市内中学生 約30人（各校6人程度）



あたらしく、知多らしく。

梅香る わたしたちの緑園都市

お問い合わせ

市民協働課協働まちづくりチーム 岡本（0562-31-0382）

資料 6

「地域における初期日本語教育モデル事業」を開催

概 要

愛知県が主催する「地域における初期日本語教育モデル事業」の共催自治体に採択されました。

① 日本語を学び始める外国人市民を対象とした「はじめての日本語教室」

② 地域で日本語を教える人材を育成する「指導者養成講座」を実施します。

PRポイント

本事業は、単に日本語を教えるだけでなく、外国人市民が地域とのつながりを築き、地域社会の一員として参加するための仕組みを整えることを目的としています。

市が日本語学習経験がほとんどない方への初期対応を担い、「知多市にほんごの会※」など既存の地域日本語教室につなげます。

また、指導者養成講座の修了者が新たに地域日本語教室や日本語交流の場を立ち上げる際には、多文化共生補助金を活用して支援し、地域全体で多文化共生を推進します。

※ 毎週水曜日午前10時から・土曜日午後2時から、ふれあいプラザ（新知東町2丁目7-2）で日本語教室を開催



▲はじめての日本語教室のイメージ

日 時 日 本 語 教 室：9月13日～11月8日の日曜日（全8回）
指導者養成講座：8月30日～2月14日の日曜日（全12回）

会 場 勤労文化会館 研修室1（緑町5-1）

対 象 日 本 語 教 室：日本語がほとんど分からない16歳以上の方
指導者養成講座：地域の日本語教室において初期日本語教育を行う意思のある方

参加費 無料

詳 細 別添チラシをご覧ください